

古着伝言板

2003年10月20日

ファイバー リサイクル ネットワーク



〒232-0017横浜市南区宿町2-40 大和ビル101 FRN

Tel: 045-710-6507 Fax: 710-6508

<http://jimfiber.infoseek.livedoor.com/> <mailto:jimfiber@livedoor.com>

事務所オープン：月～金 11:00～16:00

「もう一度考えよう!ファイバーリサイクル」

綿'Sクラブ代表 中野聰恭

10周年を経過したFRN活動の再スタートにあたり、1)FRNの回収と行政回収の違い
2)なぜ回収される物が限定されるようになったか 3)横浜エコ・リサイクルポート構想につ
いて、6月30日に内部学習会でお話させていただきました。当日ご都合悪く参加出来な
かったメンバーのためと、当日レジュメもご用意しなかった不親切のお詫びと整理の意味で簡
単にまとめて報告します。

1) FRNの回収と行政回収の違い

まず、行政回収の方法には大きく分けて①民民で取り組んできた集団回収を拡大し
た方式と、②資源ゴミ回収方式の2つあります。①は実施団体の町内会、自治会等を行政
が直接取りまとめ、古紙やビン缶などと同様に古布も回収する。②は実施団体を組
織化することなく行政のごみステーションを回収拠点に使用して、古紙の日や古布の日
を設けて直営または委託により定期的に回収する。いずれも環境行政の一環としてご
みの減量を目的に実施されています。ただし①の集団回収はごみ減だけでなく地域コ
ミュニティーづくりの支援を目的として、奨励金(補助金)制度を設けている場合もあ
ります。そこでお問合せのFRNとの違いですが、結論から言えば「FRNは我が国
最初の古布・古着の単独回収システム」であると回収方法の違いとは私は考えてはい
ません。回収方法の違いではなく回収の目的が違うのです。すなわちFRNの回収も
結果としては「ごみ」の減量化につながるのですが、ごみを減らすのが主たる目的で
はありません。まず古布・古着を「ごみ」などと考えていません。個人宅や店先、人の
集まる場所に「ごみ」を回収するから貸して下さいと言って貸してくれますか・・・?
衣料品は人類の第二の皮膚と言われるように、衣料品無くして毛皮や丈夫な皮膚を持
たない人類の繁栄は有り得なかった訳ですから、新品の衣料品だけでなく私たちと古
布・古着との関わり方を求めた、様々な活動がFRN活動と言えるでしょう。回収は
その入り口です。まず①「ごみ」にしない(結果としてごみ減につながるが)ための回
収運動、②リサイクル情報の発信、③国際貢献(市民基金づくりなど)、を通じた自立
型市民活動を目指したのがFRN活動です。この点が行政回収とは全く違います。今

や日本全国でファイバーリサイクルと言えは通じますが、言葉が文化だとすればこの10年間で「ファイバーリサイクル」なる造語をメジャーな言葉にしたのは、FRNの文化的活動とも言えるでしょう。この傾向は平成13年1月施行の循環型社会形成推進基本法にある、3R (Reduce, Reuse, Recycle) を先取りする形で、リユース活動から着物フェアや「布あそび」へと進化をし、衣料品と関わり合うライフスタイルの提案へと進んでいるように思います。

2) なぜ回収される物が限定されるようになったか

古繊維のリサイクルを取り巻く環境が変化した結果です。FRN活動の一方のパートナーである綿'Sクラブの活動は、実体経済の中でリサイクル活動しています。「経済は生き物」と言われるように、株式相場や魚・野菜同様「生き物」ゆえに変化をしています。再生品と言へどもウエスや反毛綿、中古衣料も商品として市場経済の中で生きています。これまで「タンス在庫のお願い」等でお知らせしてきたように、我が国の産業構造の変化やグローバル化、はたまた衣料品の持つ機能や素材の多様性、気候風土や生活慣習、宗教や政治要因など、およそ人間が存続に必要とする基本三要素、衣、食、住の第一順位「衣料」であるがゆえの、人間社会の縮図のような様々な要因が原因となっています。たとえば中国が古着の輸入を禁止したことなどです。しかしながら夏物衣料や子供衣料などはその他東アジアの国々で必要とされる数量に足りません。「リサイクル情報の発信」はFRNの活動目的ですから、現在経済産業省の取り組んでいる「繊維製品3R推進会議」への働きかけなど、これからも新技術や新用途開発を含めリサイクル率向上を目指して、生きたリサイクル情報を発信していきたいと考えています。

3) 横浜エコ・リサイクルポート構想について

FRN活動と直接には関係ありませんが、私がこの5月まで10年間理事長(現会長)を務めていた「横浜市資源リサイクル事業協同組合」(組合員数154社)が取りまとめ提言した、古紙・金属・プラスチック・古布の全般に渡り、環アジア圏を対象とした広域リサイクル構想です。港横浜の港湾施設の活性と、地球温暖化防止(モーダルシフトによるCO2削減)、廃棄物の資源化、ヨコハマG30の推進、静脈産業の育成と静脈物流の構築などを目指しています。



《綿'S倶楽部 ひとことインタビュー》 シリーズ(2)

日頃、皆さんが地区の回収でお世話になっている、綿'S倶楽部の方々です。回収のお忙しい時間に手を止めて、「ひとことインタビュー」にご協力いただきました。

- 質問 Q1. 業者さんのお名前
 Q2. 今のお仕事に就かれて何年くらい?
 Q3. FRNと関わって良かったこと、悪かったことは?
 Q4. 今、困っていることは?
 Q5. 大切にしている事(物)は?
 Q6. ご趣味は?

- A1. 磯部 耕二さん(横浜繊維)
 A2. 38年
 A3. いろいろな人と出会えて、よかった。
 A4. なし
 A5. 人間関係
 A6. 仕事

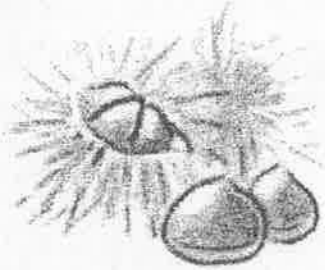


- A1. 新井 康仁さん(東ウエス)
 A2. 40年
 A4. 景気が悪いこと
 A5. 別がない
 A6. 囲碁



- A1. 田中 明さん(田中ウエス)
 A2. 17年
 A3. 雨対策を考えないと、回収した衣類が雨に濡れて、使い物にならなくなる。
 A4. 体調が悪くて荷物の上げ下ろしができないこと
 A5. 仕事
 A6. 食べること、寝ること





「布あそび展」に参加して

大木麗子

「布あそび展」の開催が9月末から10月6日までと決まった時、まず大きな葉っぱのタペストリー、赤とんぼ、柿、栗が目につきました。話し合っていくうちに、すすきも飾ろう、ワレモコウも秋だよネ。それらは、全て着物で作れる。しかも、どうしても絹物をほしがると人が多い中で、今ウールの着物は在庫がたくさんある。これをなんとか利用して「ウールの着物もいいよ！」って思っていた。何が出来るか、会場をイメージすると、正面・側面が白い壁。ウールの着物だけで“タペストリー”を作ったら？と声があがった途端に着物を選び始め、30枚近い着物が選ばれ、色調別に山ができて、その場で袖がはずされていました。

とにかく全員が毎日集まって、話し合ったり作業ができる訳ではありません。貴重な時間は最大限に使わなければなりません。結果、畳一枚くらいの大きさを想定し、3枚作ろう、と各々持ち帰ることに。また同時進行で講習会についても話し合い、FRNには欠かせない「さき布ぞうり」「布花ブローチ」そして、今回ウールの着物の利用をアピールするために型紙を使わず、一枚の着物を上下に分けて作る「作務衣」秋にぴったりということで、「どんぐりのブローチ」端布でできる「鍵入れ」と、なんと5講座！先生役が足りません。内部講習会を開き対応することになりました。

皆の思いがきちんと決まったのは開催日の3日前。でも出来上がったのです。ウールの着物のタペストリーも…。赤係でまとめたタペストリーは夕焼けをイメージして赤とんぼが飛び、夜をイメージした青係には月を見ているウサギが3匹。そして、中央の一番大きなタペストリーには、実りの秋の柿とトウガラシを配し、テーブルを飾る“すすき”も絹の胴裏。色焼けしてしまった布ですが、ぴったりです。ワレモコウも絹の赤やウールを裂いてワイヤーに巻き付ければ、あらあら不思議、かわいい花に変身です。

9月30日、会場作りです。精一杯、秋をイメージして、様々な作品を作ったつもりですが、どんな風な会場に出来上がるか、正直不安でした。皆の声を聞きながら、次々と配置されていくと、完全ではない部分も見え、反省点はありましたが、想像していた以上の出来栄でした。見に来てくださる方々に少しでも参考になれば良しとし、次になぎたいと思います。

FRNのパネル、リメイクの作品と、にぎやかな会場となりました。また、講習会も大盛況でした。出来上がった作品を手に「次はいつですか？」「毎月やってほしい！」「展示してある作品の型紙を有料でもいいから分けて欲しい」との声も寄せられました。

でも私たちの活動は販売が第一の目的ではなく、永い時を過ごして来た着物や古布を最後まで使い切りたい、もう一度“命”をふきこんで欲しい。そのヒントを少しでも得ていただけたら…。

そんな想いを、また次の「布あそび展」につなげて行けたら…。



《次回「布あそび展」 2004年2/24(火)～3/1(月) 予定》 お楽しみに！

生活と環境と衣類

—ファイバーリサイクルネットワークの活動を通して—

服部 孝子

*10月8日(水)、和洋女子大学のセミナーハウスに行きました。50人程の女子学生のセミナーで表題のことについて話して欲しいとの要請を受けたことによりました。竹内さんに助手として随行してもらうことを(荷物もちをお願いしました)認めて頂き、慣れない土地に珍道中しました。場所は、千葉県佐倉市ユーカリが丘で、京成ユーカリが丘からかわいらしい「モノレールユーカリが丘線」に乗り、「女子大」で下車すると殆ど目の前にありました。真新しい建物で大変閑静な所でした。お昼はセミナーハウスの食堂でカレーをご馳走になりました。

*お話は午後一番の1時からでした。お腹がいっぱいになったところで多分学生さんは眠いのではないかなと思ひ、トークの方法を考えねばと思わず緊張してしまいました。目で見ってもらうためにウールの和服でリフォームした(実際には大木さんに作って頂いた)寒務衣と竹内さんの巻きスカートとおしゃれなチョッキを持って行ったのは正にラッキーでした。学生さんに着てもらい、寝ていた頭もすっきりVサインなどがでていました。更にお話の中にFRNの初期のころのビデオを写してファイバーの流れを観てもらいました。

*お話ししたレジュメをごく簡単にここに記しておきます。

1. 今、私たちの生活は
2. ファイバーリサイクルとは
3. ファイバーリサイクルネットワークとは
4. 時代が移り社会も変化して
5. 市民活動も回収だけの活動からリユース活動に重点をおく
6. みんなで大切に使い切る手立てを考えましょう

以上のような話をしたのですが、2.の所ではリサイクルが始めではなく、リデュース、リユース、リサイクルと行くべきで最初からリサイクルすることが環境にやさしいとは言えないことを強調してきました。

リテック品 販売中

新しい再生品のご紹介

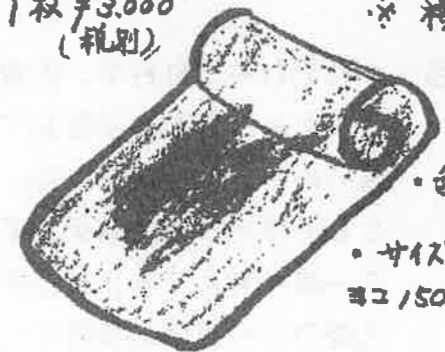
<5本指ソックス>

1足 ¥200
 フリーサイズなので
 どんなサイズの方
 もOK!!
 色は白。
 *送る場合は
 5足単位とな
 ります。



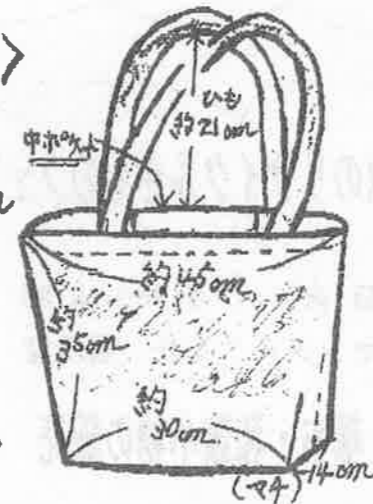
<リサイクル毛布・くるまる>

1枚 ¥3,000
 (税別)
 * 横糸にウール
 100%。
 反糸糸(リサイクル糸)
 使用。
 ・色はエコカラー
 (アムネ色)
 ・サイズは広すと
 ヨコ150cm、タテ200cm



<エコバック>

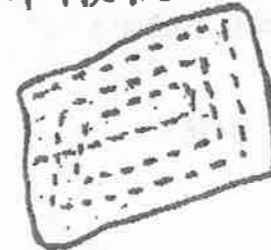
1枚 ¥550
 * ジーンズの裁ち落とし
 で作られています。
 色は紺です。
 ・中ポケット付。
 ・巾広マチ14cm。



* リテック品につい
 のお問い合わせは、
 下記FRN事務所まで
 <TEL>
 045-710-6507

—おなじみのリテック品—

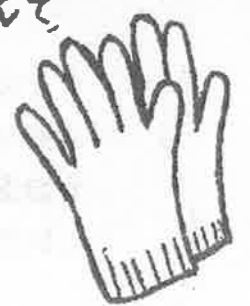
拭き布1枚 ¥80



カラダんて
 1双
 ¥80
 色は茶



白だんて
 1双
 ¥50



《お知らせコーナー》

〔内部学習会〕

PART 2

日時 : 10/28(火) 13:30~ 運営委員会
講師 : 中野聰恭氏 (綿'S倶楽部代表)
会場 : 大和ビル 2F 会議室

内容:それぞれの市町村で、古着・古布の行政回収が始まっていますが、6/30の学習会で、FRNの回収と行政回収の違いについて学びました。そこで、これから先、FRNとしてはどんな活動をしていくのがよいのか、皆さんも一緒に考えてみませんか?
大勢の方の出席をお待ちしています!

第10回 「秋のリサイクルきものフェア」

2003年11月18日(火) 10:00~16:00
かながわ県民センター 1F 展示室

和服・帯・端布・和装小物の販売

リメイク品の展示

☆そのまま着るだけでなく、作品作りの材料にもGOOD!
☆掘り出し物も、たくさんありますよ!
☆お友達やお知り合いをお誘い合わせの上、大勢でいらしてください。